

地方民鉄紀行

文・写真

松澤美穂

車窓に広がる

緑の田んぼに煌めく川面

穏やかな日常の少し先

連なる山の奥深くには

古い神社や古刹が息づき

恐竜たちが眠ってる

えちぜん鉄道株式会社



本

日の天気予報は、三日前まで雨時々曇り、昨日朝には曇り時々雨に変わり、夜には曇りのち晴れに。そして今、えちぜん鉄道勝山永平寺線、勝山駅の上空にはすでに青空が広がりがりつつあり、暑くなりそうな気がしている。

恐竜も魅力的だけれど…

雨降りを覚悟していたから、勝山駅からの移動はバスを予定していたけれど、この空模様なら駅でレンタサイクルするのもいいかもしれない。発車時刻が決まっているバスより自転車の方が時間の融通が利く。バスが自転車か。迷ったものの、結局、エアコンの効いたバスを選択。向かうは福井県立恐竜博物館、ではなく平泉寺白山神社。

えちぜん鉄道福井駅と勝山駅はもちろんJR福井駅も恐竜ミニメントや壁画に彩られ、福井「恐竜王国」を猛アピール。恐竜への興味が掻き立てられる。でも、恐竜博物館は日時指定の事前予約制。ふらっと立ち寄るのは難しい。何より、えちぜん鉄道担当者さんに、「景色も雰囲気も素晴らしい」とお勧めされた平泉寺白山神社がどうしても気になる。勝山駅から恐竜博物館へのアクセスバスを待つ人々を横目に、貸し切り状態の平泉寺白山神社へ行くバスに乗る。駅周辺の住宅地を抜けると、バスは山の中に続く坂道に入る。暑い季節に自転車坂道はキツイ。バスを選んで正解。しかも、運転手さんによれば、最近、周辺で熊の目撃情報があったとか。なおさらバスを選んで正解。「基本夜行

性だから大丈夫だと思うよ、人もいるしね。でも、案内所でクマ鈴、貸出しているから、念のため借りたら？」。お勧めに従って、案内所でクマ鈴を借り、腰に装着。参拝に向かう。

拝殿へ続く長い石段は、昨夜遅くまで降っていた雨が残って黒く沈み、周囲の木々もしっとり濡れていて、駅周辺よりグッと涼しい。二つ目の鳥居をくぐると、拝殿につながる石畳の左右一面を苔に覆われた境内が広がる。十分に雨で潤った苔は瑞々しく、緑鮮やかに薄っすら光っているようにさえ見える。立ち止まればクマ鈴の音が止み、杉の枝葉に残っていた雨粒がパラパラ落ちる音が大きく聞こえるほど静かになる。他にも参拝者はいたはずなのに、広い境内に散らばったのか、周囲に誰もいない。「神様の領域」を感じさせる幻想的な空間に一人きりだと思つと、怖いような落ち着かない気分になつて、無駄に動いてクマ鈴を鳴らしてみる。

一人きりでいた時間はほんのわずか。ガイドに先導された5、6人の団体がやって来て、周囲が少し賑やかになる。人の姿にホッとすると、今度はもう少しあの幻想的な雰囲気を味わっていたかったような気分になつてくる。後ろ髪を引かれつつ、場所を譲って歩き出す。

蕎麦処福井の腹ごしらえは？

平泉寺白山神社を後にして、勝山駅から列車に乗る。乗車時間約5分ですぐに下車。降り立ったのは発坂駅、お目当ては蕎麦。「恐竜王国」福井は、蕎麦の産地としても有名。ちよつと調べただけでも、お蕎麦屋さん

えちぜん鉄道

【えちぜんてつどう】

福井駅を起点に、三国港駅までを結ぶ三国芦原線と勝山駅までを結ぶ勝山永平寺線の2路線を運行する。



福井駅の駅舎は恐竜だらけ。





蕎麦屋さん「好太郎」さんは発坂駅(上)のすぐ側。辛味しぼりのつけ汁は、本当に辛いらしい。



平泉寺白山神社は見事な苔が有名。散策には念のためクマ鈴を。



駅名にも！福井と言えばあのお寺

永平寺口駅は、福井県を代表する寺院の一つ大本山永平寺への最寄り駅。せっかく福井

次々見つかる。おいしいお店は地元の人に尋ねるに限る。えちぜん鉄道担当者さんのお勧めは、発坂駅近くにある「好太郎」さん。駅から徒歩1分もかからないお店に入って注文したのは、もり・辛味しぼり・おろしの3種類のつけ汁が楽しめる「そば三昧」。「辛味しぼり」はかなり辛いので苦手な場合、とろろに変更できますよ」との説明。それほど辛いのが得意ではないので、ありがたく変更していただく。出てきた蕎麦を堪能していると、後ろの席から「うわっ辛い、無理かも」「これが美味いんだよ」などと聞こえてくる。辛味しぼりは辛味大根のしぼり汁。普通のおろし出汁の辛さで私には十分。変更して良かったけれど、辛味しぼりがどれだけ辛いか、一口挑戦してみたかった、かも。

「そば三昧」は普通の盛り蕎麦の2倍の量。重くなったお腹を抱えて発坂駅に戻り、再び福井行きの列車に乗る。

進行方向右側の車窓には九頭竜川の川面が光る。アユ釣りの解禁期間、川の中には釣り人の姿が点々としている。燦爛と降り注ぐ日差しを浴びながらの釣りは、暑さも相当だろうけれど、見ている分には涼し気な光景。車窓をぼんやり眺めているうちに、ついついウトウト。気付けば九頭竜川は住宅や田んぼの向こうに見え隠れするくらいになり、目的の永平寺口駅に到着。

次々見つかる。おいしいお店は地元の人に尋ねるに限る。えちぜん鉄道担当者さんのお勧めは、発坂駅近くにある「好太郎」さん。駅から徒歩1分もかからないお店に入って注文したのは、もり・辛味しぼり・おろしの3種類のつけ汁が楽しめる「そば三昧」。「辛味しぼり」はかなり辛いので苦手な場合、とろろに変更できますよ」との説明。それほど辛いのが得意ではないので、ありがたく変更していただく。出てきた蕎麦を堪能していると、後ろの席から「うわっ辛い、無理かも」「これが美味いんだよ」などと聞こえてくる。辛味しぼりは辛味大根のしぼり汁。普通のおろし出汁の辛さで私には十分。変更して良かったけれど、辛味しぼりがどれだけ辛いか、一口挑戦してみたかった、かも。

永平寺口駅は、福井県を代表する寺院の一つ大本山永平寺への最寄り駅。せっかく福井

にきたのだから、映像でよく見るあの伽藍をぜひ見たい。

永平寺口駅から永平寺まではバスに乗る。平泉寺白山神社と比べると参拝者が多いのだろう、アクセスバスの本数が多くて便利。バスは15分弱で門前町に到着。門前町を抜けて、さっそく境内に入る。受付には参拝の注意事項がきちんと表示されていて、ここからも参拝客の多さが感じられる。もちろん参拝順路や立ち入り禁止箇所も示されているので、迷わず進める。

各伽藍とそれらをつなぐ廊下は、床も柱も階段もしっかり磨き上げられ、庭もきれいに整えられている。修行の一環として、人の手が、心配りが、隅々までしっかり行き渡っていることが伝わってくる佇まい。多くの参拝者が行き交っているのに、不思議な落ち着きと静けさのある荘厳な雰囲気をつくり堪能。



どこもかしこもきれいに磨かれている永平寺。各伽藍は廊下でつながっている。



沿線で九頭竜川が一番近くなるのは小舟渡駅近辺。